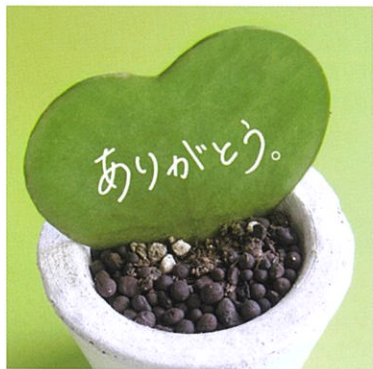


## 食品や日用品、文具用品を受け取った学生たちの声

そこには、家族に心配をさせたくない  
仲の良い友達だから困っているって言えない  
といった若者なりの思いがつまっていました

- ” コロナで親の収入も減っていたので、自分のバイトがなくなったことを親にも言えませんでした。食費を切り詰めていたのでとても助かりました。ぜひ、また実施してください。
- ” コロナが広がり、買い物に行くのも少しためらうご時世であることや、アルバイトの収入が減ってしまったので、今回の支援は非常にありがたかったです。
- ” 慣れない一人暮らしで今回の支援はとても助かりました。月末になると「今月食費使いすぎたなあ... 来月はちょっと減らそうか...」など、不安の絶えない毎日です。でも、たくさんの食糧をいただき不安が少し和らぎました。



- ” オンライン講義で自宅の光熱費や通信費が思ったよりもかかり、食費を削らざるを得ませんでした。今回の食料支援は本当にありがたかったです。
- ” 思っていたよりもたくさんの食糧をいただけて驚きました。また、買おうか...と迷っていた文具もあって嬉しかったです。学業に励み社会に役立つ人になりお礼をしたいと思います。

「次は、こんな実施の方法はどうでしょうか？」とプロジェクトへの前向きな意見を投稿してくれる学生もいました。私たち大人だけでなく当事者の学生たちが関心を持ってくれたことも大きな成果です。

- ” 僕も、一つ下の妹も18歳以下の（コロナ給付金）対象外でした。1歳違うだけの矛盾を感じていました。一生懸命に働き進学させてくれている両親にこれ以上の無理も言えずにいたところへの、今回の支援でした。たくさんの食品は10万円よりも価値があると思いました。食糧を寄付してくださった方、このような機会を作ってくださった大学の先生方に本当に感謝しています。

- ” このような活動をしてくださっている人たちがいるんだということに、心が温まりました。久しぶりにお米を炊きました。一粒も無駄にしたいかと思いました。大切に食べます。
- ” 「ちゃんと食べてる？」と声をかけられ「1日2食にしている」と言ったら、「しんどい時はしんどいって言いや。我慢したらアカンよ」と言われました。「そっか〜。しんどいって言ってもいいんや」と気持ちが楽になりました。
- ” 食品が高くなっているのを助かりました。コロナで気分が落ち込むことが多かったのですが、皆さんの優しさに明るい気持ちになりました。
- ” 自分の周りに本当に生活に困っているかどうかわからない人が多く「お金がない」とは言えません。自分も困っていないフリをし、友人に合わせてムダ使いをして後ですごく後悔します。スタッフの方に「しっかり食べてしっかり勉強しいや」と声をかけられて、見ず知らずの人にこんなに親切にしてください感謝しました。しっかり食べてちゃんとした大人になろうと思いました。

## 若者たちの声に 耳を傾けてください

- ” このような支援をいただき本当に感謝しています。来年からは社会人になるので、自分も誰かを助けることができる人になりたいと思います。
- ” いただいた物を写真に撮って家族に送ったら、「感謝を忘れず頑張れ！」と言われました。いつかこの気持ちを返せるような社会人になりたいと思います。
- ” 今の時代は普通が当たり前です。困っていないフリをしないと恥ずかしいという気持ちになります。生活が苦しくても苦しくないフリをするのがすごく苦しいです。でも、今回の支援に喜んで多くの友人を見て、もしかしたら私と同じように言えずに苦しんでいたのかもしれないと感じています。今回、このような支援をしてくださった多くの皆さまありがとうございました。

